



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

トルコ：「スレッジ・ハンマー」クーデター計画に関する公判判決（9月21日）

イスタンブール第10重大裁判所において、1年半以上にわたって全108回の公判が行われた「スレッジ・ハンマー（Balyoz）」クーデター計画（2003年国軍内で計画されたとされる政府転覆クーデター計画）に関し、21日、判決が下された。

1. 判決の概要

「政府転覆または政府介入」の罪により、被告全365人のうち、チェティン・ドアン元陸軍第1軍団司令官（退役陸軍大将）、オズデン・オルネッキ元海軍司令官（退役海軍大将）、イブラヒム・フルトゥナ元空軍司令官（退役空軍大将）の3名に懲役20年、その他軍人や国会議員など78名に懲役18年、218名に懲役16年、1名に懲役15年、28名に懲役13年4カ月、36名に無罪判決が下された（1名の被告人死亡）。

今後、民事刑事最高裁判所（YARGITAY）への上告、さらには憲法裁判所への不服申し立てがあると見られる。

2. 要人の発言

(1) エルドアン首相

判決理由を知らずにコメントをするのは望ましくない。この裁判は終了したわけではなく、この判決の後さらに民事刑事最高裁判所のプロセスがある。我々が望むことは、公正な判決が下されることである。

(2) アルンチ副首相

長年にわたる裁判に判決が下された。今回の判決は第一段階であり、今後の上告判決を待たなければならない。今回、裁判所がどのような根拠に基づき判決を下したのか知るため、判決理由を知る必要がある。トルコの民主主義や軍と文民との関係における近年の進展の観点からも重要な裁判である。一つの結果が出たことは喜ばしいことであるが、全ての被告が今後上告する権利を有するのは明らかである。

(3) ボズダー副首相

裁判所が判決理由を公表すると、よりはっきりとしたことが分かる。この判決は最終判決ではなく、今後、民事刑事裁判所の段階がある。

(4) チチェッキ国会議長

今後、民事刑事最高裁判所へ上告され、その後、個人的な不服申し立てにより、憲法裁判所において審議が継続され得る。

(5) クルチダルオール共和人民党（CHP）党首

あらゆるクーデターには反対だが、公正な司法がない中で人々が逮捕・拘留され、弁護権が与えられないような状況を容認することはできない。罪を犯した者は、司法の中で罪を償わなければならないと信じている。公平さは神聖な概念であり、崇めなければならないにもかかわらず、AKP はそれをゴミ箱に捨てたのである。

(6) バフチェリ MHP 党首

（エンギン・アラン MHP 議員が懲役 18 年の判決を受けたことに対し）国会議員が不当に処罰に処されるということは、国民の意志に対する汚点であり、これを償うのは極めて困難である。多くの議論の的となり、21 カ月継続した公判の結果下された判決は、良心を傷つけ、不公平さを露わにしたものである。2 月 28 日プロセスをはじめとする過去の屈辱を晴らすため、公平性に影が落とされ、粉碎されたという印象が次第に強くなっている。